

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	関係法規・制度	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○		
授 業 の 概 要	理容師・美容師の資格を定めるとともに、理容の業務が適正に行われるように規律し、もって公衆衛生の向上に資することを目的とする。また、理容師・美容師の社会における役割や、職業上、必要な制度について勉強する									
学 習 的 目 的	理容師・美容師として必要な国家試験の内容やそれに伴う各行政機関の役割を理解し、社会生活における理容師としての役割について学ぶ									
教 科 書	日本理容美容教育センター「関係法規・制度」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	法制度の概要	法が必要とされる理由や特徴・種類など法の役割について学ぶ	
第2回	衛生法規の概要	衛生行政の目的を理解し、国と地方が行なう行政の関係を学ぶ	
第3回	衛生行政の意義と歴史	国民生活の公衆衛生を増進するための衛生行政を理解し、衛生行政のこれまでの歴史と発展および現在の衛生行政の課題を学ぶ	
第4回	衛生行政の分類と生活衛生行政の内容	衛生行政の種類と、それらを所管する機構と内容について学ぶ	
第5回	理容師法の目的	理容師法・美容師法の考え方、仕組み、規制を理解し、理容師・美容師が適性に理容・美容の業を行うために必要な事を学ぶ	
第6回	理容師法の用語の定義	理容師法・美容師法で特に必要だと思われる用語を学ぶ	
第7回	人(理容師・美容師)に関する規定	理容師・美容師の養成、試験、免許の仕組み、等について学ぶ	
第8回	人(理容師・美容師)に関する規定	理容師・美容師の免許と登録について学ぶ	
第9回	人(理容師・美容師)に関する規定	理容師・美容師が管理業務を行なうときに厳守しなければならない義務について学ぶ	
第10回	施設(理容所・美容所)に関する規定	レディースシェービングの姿勢・レザーの角度の確認運行・スピードの確認(実技試験)	
第11回	施設(理容所・美容所)に関する規定	理容書・美容所以外での衛生措置について学ぶ	
第12回	違反者に対する行政処分・罰則	違反者に対する罰則や、理容所・美容所に対する処分および罰則について学ぶ	
第13回	理容師法・美容師法のまとめ	理容師法・美容師法の復習・理解	
第14回	関連法規	理容師・美容師及び理容所・美容所を営営する場合に必要な法律について学ぶ	
第15回	関連法規まとめ 理容師・美容師試験	理容師・美容師試験対策	

到達目標	1. 理容師・美容師国家試験(関係法規・制度)合格レベルの知識習得
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	ミディアムヘア(国家試験)

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	衛生管理	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○		
授 業 の 概 要	消毒法を知り、理学的消毒法、化学的消毒法の特徴を学ぶ。消毒薬の種類と濃度計算式を理解する。清潔保持と清掃の意義を知る									
学 習 的 目 的	理容所・美容所における適切な消毒薬、消毒法									
教 科 書	日本理容美容教育センター「衛生管理」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	消毒法と適用上の注意	消毒法の種類・病原微生物の抵抗力	
第2回 ～ 第4回	消毒法各論・理学的消毒法	紫外線消毒・煮沸消毒・蒸気消毒	
第5回 ～ 第6回	化学的消毒法	アルコール類の消毒・次亜塩素酸ナトリウム・界面活性剤・逆性石鹼	
第7回 ～ 第8回	すぐれた消毒法と実施上の注意	消毒法の条件、注意事項	
第9回 ～ 第10回	消毒法実習	各種消毒薬・消毒薬と希釈液濃度	
第11回 ～ 第12回	消毒薬希釈法	各種消毒薬希釈の手順	
第13回	理容所・美容所の消毒	消毒設備・器具の消毒法・消毒の現状	
第14回	理容所・美容所の消毒法	洗剤による清浄法・衛生昆虫の駆除	
第15回	衛生管理技術のまとめ	消毒法と特徴・器具、布片の消毒法・希釈法	

到達目標	理容師・美容師国家試験(衛生管理)合格レベルの知識習得 理美容師の社会責任・職儀容倫理への理解
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備 考	

ミディアムヘア(国家試験)

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	保健	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○		
授 業 の 概 要	人体の構造(解剖学)と機能(生理学)について具体的な知識を持つ									
学 習 的 目 的	皮膚・毛髪などを主とする知識を美容技術と関連づけて学ばせる									
教 科 書	日本理容美容教育センター「保健」									

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚の異常とその種類/皮膚疾患の原因	
第2回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	皮膚疾患の治療法/皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹/口唇の疾患/温熱・寒冷による皮膚疾患	
第3回			
第4回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	血管腫(アカアザ)/脂腺母斑/下肢静脈瘤	
第5回			
第6回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	分泌異常による皮膚疾患/化膿菌による皮膚疾患	
第7回			
第8回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	ウイルスによる皮膚疾患/細菌による皮膚疾患	
第9回			
第10回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	真菌による皮膚疾患/衛生害虫による皮膚疾患	
第11回			
第12回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	感染症の皮膚疾患の予防	
第13回			
第14回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	毛と爪の疾患/皮膚の腫瘍	
第15回			

到達目標	理容師・美容師国家試験(保健)合格レベルの知識習得
成績評価	期末試験 単位認定 60点以上
備 考	ミディアムヘア(国家試験)

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	香粧品化学	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○		
授業の概要	学科及び実技としての香粧品化学を理解できるように授業を進める。また、「衛生管理」、「保健」「理容・美容技術理論」など、他教科との関連性を付ける									
学習目的	理容師・美容師として重要な意義をもつ「香粧品化学の理解と応用能力」を身に付けさせる									
教科書	日本理容美容教育センター「香粧品化学」									

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回	頭皮・毛髪用香粧品	シャンプー剤	
～		スタイリング剤	
～		パーマ剤	
～		ヘアカラー製品	
第9回		育毛剤	
第10回	芳香製品と特殊香粧品	芳香製品・特殊香粧品	
～			
第14回			
第15回	香粧品まとめⅡ	香粧品化学の国家試験(筆記)対策問題練習	

到達目標	理容師・美容師国家試験合格レベルの知識習得 人の生体の成分に化学変化を与える香粧品の基本知識を習得し、その危険性について認識する 香粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く
成績評価	期末試験 単位認定 60点以上
備考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	文化論	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○		
授業の概要	「日本」「西洋」の髪型、メイク、ファッションの歴史を学び、現代にどのように受け継がれ活かされているかを学ぶ									
学習目的	理容・美容の文化史を学び「ファッション」について考え、コミュニケーションのツールと共に歴史を学ぶ									
教科書	日本理容美容教育センター「文化論」									

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回	ファッション文化史 西洋編	古代エジプト	
第2回		古代ギリシャ・ローマ	
第3回		古代ゲルマン	
第4回		中世ヨーロッパ	
第5回		近世Ⅰ(16世紀)	
第6回		近世Ⅱ(17世紀)近世Ⅲ(18世紀)	
第7回		近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)近代Ⅱ(19世紀)	
第8回		現代Ⅰ(1910年～1920年代)現代Ⅱ(19130年～1940年代前半)	
第9回		現代Ⅲ(1940年後半～1950年代)現代Ⅳ(1960年代)	
第10回		現代Ⅴ(1970年代)現代Ⅵ(1980年代)	
第11回		現代Ⅶ(19690年～2010年代)	
第12回	皮膚と皮膚付属器官の疾患	和装の婚礼	
第13回		洋装の婚礼	
第14回		ファッション文化史年表	
第15回	文化論まとめⅡ	文化論の国家試験(筆記)対策問題練習	

到達目標	理容・美容文化史の移り変わりを知り、お客様にファッションについてアドバイスができる
成績評価	期末試験 単位認定 60点以上
備考	ミディアムヘア(国家試験)

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	理容技術理論	必修	60	2.0	○	講義	演習	実習実技
								○		
授業の概要	理容師としての心構え、理容技術の基礎理論を学び、理容技術の理解を高めて理容実習につなげていく									
学習目的	科学的根拠をもとに理論を理解することで、より良い技術と心構えを持ちお客様に提供できる理容師をめざす									
教科書	日本理容美容教育センター「理容技術理論」									

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回	シェービング	グルーミング	
第2回		レディースシェービング	
第3回	理容エステティック	理容エステティックを学ぶにあたって・スキンケア	
第4回		フェイシャルケア	
第5回		ハンドケア	
第6回		フットケア	
第7回		理容アロマセラピー	
第8回	理容技術理論まとめⅠ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第9回	理容クリニック	理容クリニックを学ぶにあたって・ヘアクリニックのカウンセリング	
第10回		トリートメント	
第11回		ヘアケアとスカルプケア	
第12回		毛髪の基礎知識・ヘアチェック(毛髪診断)	
第13回		頭皮の基礎知識・スカルプチェック(頭皮診断)	
第14回		ヘアクリニックの用具・ウィッグ	
第15回	理容技術理論まとめⅡ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第16回	シャンプーイング&リンシング	シャンプーイング	
第17回		シャンプーイングの方法①	
第18回		シャンプーイングの技法②	
第19回		リンシング	
第20回	理容マッサージ	理容マッサージの意義と効果	
第21回		理容マッサージの意義と効果マニピュレーション	
第22回		ヘッドマッサージの一例	

第23回		クリニックマッサージの一例	
第24回	理容技術理論まとめⅢ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第25回	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントを学ぶにあたって	
第26回		ヘアトリートメントの種類と一例	
第27回	スカルプトリートメント	スカルプトリートメントを学ぶにあたって スカルプトリートメントの種類	
第28回		ベーシックスカルプトリートメントの一例	
第29回	理容技術理論まとめⅣ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	
第30回	理容技術理論まとめⅤ	理容技術理論の国家試験(筆記)対策問題練習	

到達目標	理容技術は、刃物を使用する機会が多いために正確な理論を身につけて、より良い理容技術の基礎となる理論を学び、正確な技術の習得をめざす		
成績評価	期末試験 単位認定60点以上		
備 考			

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	理容実習 (カッティング)	必修	150	5	○	講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	カッティング技術の基礎から応用まで幅広く知識を習得し卒業後、即戦力として活躍できる人材を育成する									
学 習 目 的	勢をしっかりと覚えてから、順序を覚える その後、時間を短縮して国家試験や営業で使える技術を身につける									
教 科 書	日本理容美容教育センター「実技課題集」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	ミディアムヘア実践12	セニングシザーズの入れ方を覚える	
第2回	ミディアムヘア実践13	セニングシザーズの入れ方を覚える	
第3回	ミディアムヘア実践14	国家試験に準ずるカットが出来ているか(セニング技術込み)	
第4回	ミディアムヘア実践15	国家試験に準ずるカットが出来ているか(セニング技術込み)	
第5回 ～ 第11回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第12回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(28分)	
第13回 ～ 第19回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第20回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(25分)	
第21回 ～ 第26回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第27回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(23分)	
第28回 ～ 第34回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第35回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(20分)	
第36回	ミディアムヘア(国家試験)	梳きバサミの仕上げ・改善点修正	
第37回			
第38回 ～ 第42回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・全体仕上がり確認・実技検定試験	
第43回 ～ 第46回	ミディアムヘア(国家試験)	実技検定試験カッティング(20分)梳きバサミ(5分)	
第47回	ミディアムヘア(国家試験)	国家試験衛生確認・道具チェック	
第48回			
第49回	ミディアムヘア(国家試験)	国家試験シミュレーション	

第50回			
------	--	--	--

到達目標	国家試験実技カッティングならびに基礎カット技術を身につけ資格取得を目指す
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備 考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	理容実習 (ワインディング)	必修	120	4.0	○	講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	構成・スタイル・形・タイム管理をしっかり習得する									
学 習 的 目 的	1. 巻き方を覚える 2. 時間短縮をする 3. きれいに巻く									
教 科 書	日本理容美容教育センター「理容実習」									

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回 ～ 第3回	ワインディング	ノンシステム、ハーフシステム、ロングシステム	
第4回 ～ 第6回		左右の色彩がそろっているか	
第7回 ～ 第14回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第15回		規定タイムで手技・仕上がり確認、(期末試験30分)	
第16回 ～ 第23回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第24回		規定タイムで手技・仕上がり確認、(期末試験28分)	
第25回 ～ 第32回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第33回		規定タイムで手技・仕上がり確認、(期末試験25分)	
第34回 ～ 第40回		規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	

到達目標	構成と正確さをしっかり身に付けて2学年に進む
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	理容実習 (シェービング)	必修	180	6.0	○	講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	国家試験の実技課題となるシェービングは理容独自の技術であり、必須な授業となる。また、メンズシェービングの他にレディースシェービングなど幅広い技術の習得を目指してもらう									
学 習 目 的	理容特有のシェービングを基礎から学び安全な刃物の扱い方などを実習し、就職後に即戦力としてできるようにする									
教 科 書	日本理容美容教育センター「実技課題集」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回 ～ 第5回	シェービング実践	国家試験の衛生課題を覚える 国家試験に準ずるシェービングが出来るか	
第6回 ～ 第10回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第11回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(25分)	
第12回 ～ 第18回	レディースシェービング1～6	レディースシェービングの姿勢・レザーの角度の確認運行・スピードの確認(実技試験)	
第19回 ～ 第21回	レディースシェービング襟剃り7～8	耳周りに注意しながら刃を立てないように練習を行う(右側面)(左側面) (実技試験)	
第22回	レディースシェービング9	レディースシェービング総合技術確認	
第23回	レディースシェービング10	レディースシェービングまとめ	
第24回 ～ 第30回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第31回	ミディアムヘア(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(20分)	
第32回 ～ 第38回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第39回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(18分)	

第40回 ～ 第46回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第47回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(15分)	
第48回 ～ 第54回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・改善点修正	
第55回 ～ 第60回	シェービング(国家試験)	規定タイムで手技・仕上がり確認・実技検定試験(15分) 国家試験衛生確認・道具確認 シミュレーション	

到達目標	1. 理美容師国家試験(実技試験)合格レベルの知識習得 2. 理容技術への理解
成績評価	期末試験 単位認定60点以上
備 考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	理容実習 (デザインヘア/ ブロー・セット)	必修	90	3.0	○	講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	コンテストなどを通して幅広い知識と技術を習得、及びイメージネーション能力向上を目指す。 現役のスタイリストから直接カットを指導してもらい、現場の雰囲気の中で専門的に技術・理論を学習し作品創りのノウハウを知る									
学 習 的 目 的	作品創りを通して創造性を高めデザイン力を身に付ける									
教 科 書	オリジナル教材「コンテスト資料」									

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
【デザインヘア】			
第1回	カット展開図	カタログなどを用いてスタイル作成	
第2回	セクション(部分)カット	展開図を元に部分のカットをする(バック・バックサイド)	
第3回	セクション(部分)カット	展開図を元に部分のカットをする(サイド・トップ・フロント)	
第4回	毛量調節	シザーズによる毛量調整、セニングによる毛量調整	
第5回	ブローテクニック	スタイルに応じたブローテクニック、仕上げ方	
第6回	スタイリング剤の使い方	スタイリング剤の選定、スタイリング技術	
第7回 ～ 第10回	コンテストスタイル (理容組合)	コンテストスタイルの作成	
第11回 ～ 第15回	コンテストスタイル (各種大会)	コンテストスタイルの作成	
【セット・ブロー】			
第1回	カット展開図	スタイルから読み解きダイアグラム作成	
第2回	2セクションカット	応用のカット技法を学ぶ	
第3回	マルチセクションカット	応用のカット技法を学ぶ	
第4回	毛量調節	シザーズによる毛量調整、インナーセニング	
第5回	ミディアムヘア(国家試験)	スタイルに応じたブローテクニック、仕上げ方	
第6回			
第7回	スタイリング法	スタイリング剤の選定、スタイリング技術	
第8回			
第9回			

第12回 コンテストスタイル	コンテストスタイルの作成	
第13回 総合まとめ	作品展示・コンテスト・作品撮り	
第15回		

到達目標	仕上げた作品をコンテストに出展し入賞をめざす
成績評価	単位認定 課題提出
備 考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	理容実習 (バリカンアート)	必修	30	1.0	○	講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	理容師独自の技術であり頭毛にバリカンでアートを描く技を習得し、デザイン力を養う									
学 習 的 目 的	理容師に必要な技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける									
教 科 書	オリジナル資料「バリカンアートカタログ」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	バリカンの構造	バリカンの構造や各部の名所の確認 バリカンの使い方や種類の知識・操作手順の確認	
第2回	ウイッグでのバリカン訓練	人形を使い実際に操作方法やバリカンの入れ方を学ぶ	
第3回	ウイッグでのバリカン訓練	人形を使い実際に操作方法やバリカンの入れ方を学ぶ	
第4回	スタイルの種類	カタログを見ながらデザインの種類を確認する	
第5回	バリカンでライン設定	ウイッグを使い頭皮にラインを書く	
第6回 ～ 第7回	直線スタイル作り	ライン通りに直線のスタイルを作る・バリカンの入れ方に注意する	
第8回 第9回	絵・文字の作り方	曲線・特殊デザインの作り方 立体的なバリカンの入れ方と缺とのバランス	
第10回	総合まとめ	ウイッグを仕上げる	

到達目標	バリカンアートのデザインを理解する→カットスタイルに合わせた技術を施術できるようにする
成績評価	単位認定 課題提出
備考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	特別教育授業	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○		○
授業の概要	理容・美容の現場で活用できる外国語やヘアデザインに必要なデッサン・ヘアスタイル画の描き方の習得、身体機能や運動機能を学ぶ体育活動を通して幅広い知識を学ぶ									
学習目的	理容・美容の現場で増えつつある、外国人のお客様へのコミュニケーションの習得やお客様からの要望を叶えるためのデッサン力の習得、また体育活動を通して幅広い知識を学ぶ									
教科書	日本理容美容教育センター「外国語」									

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回 ～ 第4回	美術	ヘアデザイン画の作成	
第5回 ～ 第7回	体育①	球技、運動を通してチームワーク、コミュニケーション能力を養う	
第8回 ～ 第10回	体育②	校内技術大会等を通して技術の向上、競争力を養う	

到達目標	海外研修旅行での英会話でのコミュニケーション能力の習得とヘアデザイン画の作成
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	スペシャル授業	必修	60	2.0		講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	理容師・美容師の技術で身だしなみを整えQOLの向上に繋げ、お客様の尊厳を守り、その人らしさを出し、生活の支えになるように心がける。									
学 習 目 的	理容に関する技能と知識の基礎を習得し、サロンワークに必要な技術で自己表現・自己実現を図り技術や感性を磨き仕事の幅を待たせる。									
教 科 書	日本理容美容教育センター「理容技術理論ⅠⅡ」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	着物・帯の種類・小物	名称を覚える。TPOに合わせる	
5	着物のたたみ方	本たたみ・夜具たたみ・長襦袢のたたみかた	
第6回	着付けの一般的要領	着物の着付け方、帯の結び方等、年齢・体型を考慮して着付けを行う	
第7回	メイクアップ理論	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と手入れ法	
5	スキンケア～ベースメイク手順	スキンケア～ベースメイク手順 相モデル練習	
第17回	フルメイク	スキンケア～フルメイクまでの完成 モデルを変えて完成	
第18回	ヘアモード	ヘアセット基本の練習	
5	編みこみ	ロープ編み・表三つ編み・裏三つ編み／ロープ編み・三つ編みくずしバージョン／四つ編み・四つ編みくずしバージョン	
第20回	相モデル練習	アイロンを使用したスタイル	

到達目標	よりよい技術と心をお客様に提供できるような接客をする
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	接客・接遇	必修	30	1		講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、マナーに対する知識、態度、技能を身につけさせる									
学 習 的 目 的	社会人になる前の最終学校として、節度ある学生を育成し、即戦力として活躍できる人材を育てる									
教 科 書	オリジナル資料「サロンワーク」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	接客・接遇の応用	電話での応対・カルテの管理・来店時の対応	
第2回	ジョブカフェ(青森県若年者就職支援センター)	就職における面接指導・履歴書の書き方	
第3回	サロンでの実習	受付、応対、マナーの練習と実地訓練	
第4回	サロンでの実習	相モデルでの接客訓練	
第5回 ↓ 第7回	施設でのハンドマッサージ	地域施設での課外授業(ハンドマッサージ)	
第8回	赤十字ボランティア清掃活動	地域清掃、登下校通学路	
第9回	赤十字ボランティア青森マラソン	青森マラソン(給水活動)	
第10回 ↓ 第11回	赤十字ボランティア炊き出し訓練	地域赤十字団との合同炊き出し訓練	
第12回 ↓ 第13回	サロンでの実習(応用)①	就職に向けての接客訓練	
第14回	サロンでの実習(応用)②	就職に向けての接客訓練(実技試験)	
第15回	まとめ・総合	接客・接遇・ボランティアのまとめ	

到達目標	マナーや接客業の知識とボランティア活動を通して節度ある人材に育成しているか判断する
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価
備考	ミディアムヘア(国家試験)

シラバス

学科名		学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法		
理容科		2学年	総合技術	必修	120	4	○	講義	演習	実習実技
								○		○
授 業 の 概 要	基本的技術を基に、さらに発展した高度な技術を習得するとともに、最新技術の習得を目指す。集大成としてヘアショーを開催し観客に披露する									
学 習 的 目 的	2年間の集大成の発表 ヘアショーを成功させる									
教 科 書	オリジナル資料「過去のヘアショーの資料、DVD」									

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	メイク①	(ヘアショー用舞台メイク)テーマを決める。モデルを決める。2年次で実習したことや雑誌・ネットなどを参考に決める	
第2回	メイク②	(ヘアショー用舞台メイク)モデルの輪郭・パーツを見ながらテーマに沿って決める	
第3回	メイク③	(ヘアショー用舞台メイク)モデルにメイクをする。色々なメイクをして決める	
第4回	メイク④	(ヘアショー用舞台メイク)モデルのメイクの決定。練習 終わった後のケアをする	
第5回	ネイル①	(ヘアショー用舞台ネイル)テーマに沿ってデザインをきめる。道具の準備等をする	
第6回	ネイル②	(ヘアショー用舞台ネイル)モデルの爪にチップ 形・大きさ合わせる	
第7回	ネイル③	(ヘアショー用舞台ネイル)チップ作成	
第8回			
第9回	セット①	(ヘアショー用舞台ヘア)テーマに沿って、メイク・ネイルが決まったので作る。パターンをいくつか作る	
第10回	セット②	(ヘアショー用舞台ネイル)決定したヘアを作る。テーマに沿っているか話し合いして決める	
第11回	セット③	(ヘアショー用舞台ネイル)練習する	
第12回	セット④	(ヘアショー用舞台ネイル)メイク・ネイルに基づいて作り決定する	
第13回	カラー①	テーマに沿ってブリーチから入る カラーの色を決めて技術に入る	
第14回			
第15回	カラー②	色みを見て完成	
第16回			
第17回	ファッショ①	テーマ・メイク・ヘア・ネイル・カラートータル的に見て決める	
第18回			
第19回	ミディアムヘア(国家試験)	小物や装飾品の確認・決定	
第20回			
第21回	映像	必要な素材を探して編集	
第22回	音楽	場面に合うように編集	
第23回			
第25回			

第26回 ┆ 第28回	演出	細部までチェックを行う作業	
第29回 ┆ 第31回	振付	音楽に合わせたウォーキング・ポージングの練習・決定	
第32回 ┆ 第34回	舞台セット	会場作りとレイアウトの修正・決定	
第35回 ┆ 第37回	写真	撮影のタイミング、ポージングの決定	
第38回 ┆ 第40回	ヘアショー	2年間の集大成を発表	

到達目標	ヘアショーを成功・連帯感		
成績評価	単位認定 出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的評価		
備 考			